天馬だより 秋号

2022年10月25日　発行
〒057-0171
浦河郡浦河町字西舎124-1
社会福祉法人わらしべ会
浦河わらしべ園
TEL　0146-28-1801
FAX　0146-28-1991

「コロナから学ぶ」

浦河わらしべ園
施設長　上　中　正　人

新型コロナウイルスの感染者数も一進一退を繰り返し、このまま収束するのかなと思ったら増加傾向になりながらも、「国」はこの10月からウィズコロナに大きく舵を切り、年末に向けてどのようになっていくか、毎日不安な日々が続きますが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。
今日の朝のテレビでは、中山峠で圧雪・アイスバーンの路面状況ということで、寒い冬も、もうそこまで来ています。

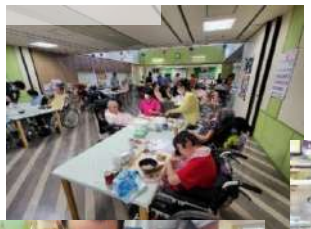
私ども、浦河わらしべ園でも8月中旬から利用者さん・職員数名が新型コロナウイルスに罹患し、その感染対策に奔走した2週間を過ごしました。浦河保健所や浦河赤十字病院、そして浦河町のご協力を得て、クラスターにはなりませんでしたがその間の職員の献身的な奮闘に本当に頭が下がる思いでありました。
1階2階の食事場所の開設や入浴やオムツ介助の割り振り、ゾーンの仕分け、毎日の出勤職員の検査など膨大な業務の増加に、普段から有事に際しての訓練や思いがいかに大切か思い知らされた時間でしたが、支援職員が数名登園できない中、気安く勤務を交代し、また残業も厭わない姿勢に本当に皆成長し、しっかりチームワークで乗り切ったなぁと強く感じたものでありました。
しかしながら、いろんな機能が低下してきた利用者さんと向き合い、食事の飲み込み一つ一つをもきちんと確認しなければならない業務に携わっている職員も、このコロナで2年半以上その生活がままならない状況が続いており、本当に収束してほしいと願わずにはいられない毎日です。

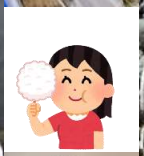
さて、話題は変わりますが先週の土曜日大好きな箱根駅伝の予選会が行われました。私が応援している大学は今年も残念ながら突破はできませんでしたが、特に箱根駅伝が好きなのは、10区間すべてが20キロ以上で1人のエースがいてもなかなか好成績につながらない、きっとそれぞれが区間4位ぐらいで10人全員が走ったらそのチームは優勝できると思うからであります。
夏の暑い時期に北海道や長野の体づくりをし、20キロ走れる体をつくり、9月にはスピードを養い、10月予選会、突破したチームは一層磨きをかけ本番に臨む、この過程が好きなのであります。

当園は支援員の離職が大幅に少なくなり、勤務年月が少しづつ長くなり、いろんな経験が増え、そしてその対応力や考える力がそれぞれ付いてきています。「一生懸命」結果を出すのではなく、「一所懸命」やることの過程の大事さを学んでほしいと思うのであります。
寒い冬が参ります皆様ご自愛を。

わらしべ祭

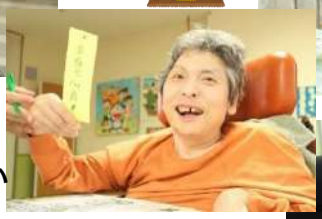
わらしべ祭の開催の季節となりました。催し物として札幌市内で活動されているよさこいチーム「むすび」さんを招き演舞いただき、職員の出し物を行い皆さん暑い中楽しまれていました。食事は職員お手製のちゃんちゃん焼きに焼き鳥などの串もの、デザートはきれいな夏景色のようなゼリー、自分で作る綿あめなどいろいろ準備し、利用者皆さんで好きに楽しんでいただきました。また、利用者皆さんへ㈱やなぎさまよりご寄贈いただきました動物のぬいぐるみをお好きなものを選んでいただきました。夕方には手持ち花火を行いました。明るい中での花火も乙なもので一日中笑顔いっぱいの日になりました。





夏レクリエーション

晴天に恵まれた当日は青空喫茶に園内では輪投げを行いました。高校生のインターンシップ生も参加し、一緒に輪投げをしたり、お話をしたり楽しく交流をしていました。
夜には花火大会を開催し、職員数名が浴衣を着たり利用者さんも甚平をきたりお祭り気分で参加しました。地域の特性上打ち上げ花火は難しいのですが、いろんな吹上花火を準備し、最後はナイアガラで締めくくりました。



日常風景

天気の良い日に園外周や厩舎へ散歩をした時の様子です。浦河赤十字看護学校の学生さんともー緒に散歩しました。
美唄市開催のピパイオイロードレースに参加しました。見事1位優勝しました(^^♪

デイ通信

10月3日から感染症対策をしっかり行いながら少人数での通所再開になりました。
久しぶりに顔を合わせる方もおりましたので、「元気にしてたか？」とお互い声を掛け合う姿が見られました。職員も久しぶりに会う利用者さんの元気な顔が見られうれしかったです。

デイサービスが入浴のみの縮小期間中に育てたカボチャやジャガイモが再開した時に丁度良い大きさになり、皆さんに召し上がっていただきました。

これからクリスマス会や新年会等色々な行事を企画しておりますので皆さんと一緒に楽しいデイサービスを作っていけたらと思います。よろしくお願いします。

職員研修

今年も浦河赤十字病院看護部長の大澤さんに来園いただき新型コロナウィルス感染症や、その他感染症についての講義をいただきました。インフルエンザの他、施設では集団でなりやすい感染症をしっかり勉強しました。虐待防止研修会では義務化された内容の確認及び説明を中心に行いました。

虐待防止研修

感染症対策研修

秋の交通安全街頭啓発

全国交通安全運動

町内一斉での街頭啓発の日。まだ少し暖かい日差しの中で街頭啓発を行いました。
朝早くから、街頭啓発運動に集まってくれた利用者さんたちは大きく旗を動かしたり声を出して園の前を通った車や通学中の生徒さんへ交通安全を呼びかけました。

ありがとうございました

《 寄 贈 》

- ㈱やなぎ　札幌営業所　様
- ㈱武田電気　様

生活支援員 正・准看護師 募集中

年齢・資格不問・未経験者OK（支援員）
詳細について興味のある方ぜひご連絡ください！！
電話番号：0146－28－1801
メール：urakawa-warashibe@deluxe.ocn.ne.jp

あとがき

10月も終わりに近づき、日高から十勝へ抜ける天馬街道の紅葉も、見頃から終わりへ近づいてきました。日高山脈も雪をかぶり始め、日に日に冬の足音が近づき一年の終わりを感じる季節となってきました。今年も残すところ2ヶ月となり、未だ終息を見せない新型コロナウィルス感染症の脅威、ロシアのウクライナ侵攻など、連日の暗いニュースばかりが目についてしまいます。
しかし、暗い気持ちになってばかりもいられません。利用者の方々は様々な病気や障害により辛いことや苦しい思いをたくさんされてきたと思います。それでも前を向いて毎日一生懸命に日々の暮らしを過ごされています。笑顔や感謝の言葉で私たち職員や周りの人たちが元気をもらうことも少なくありません。
来年は兎年、跳躍の年です。より一層、利用者の方が笑顔になり私たち職員や周りの人たちも元気に過ごせる飛躍の年にしたいと思います。

月間予定表

11月
- 特別外出
- 寿司バイキング

12月
- クリスマス会
- 年忘れ飲酒会

1月
- 騎馬参拝
- 2023年　新年会